

# 製品安全データシート

## 製造者情報

会社名 : 株式会社 和光ケミカル  
 住所 : 神奈川県小田原市南鴨宮 1-1-1  
 担当部門 : 技術部 担当者 : 田村 茂  
 電話番号 : 0465-48-8114 FAX 番号 : 0465-49-1951  
 緊急連絡先 : 技術部 電話番号 : 0465-48-8114  
 作成日 2008年9月1日 (2009年10月1日 改定第2版)

製品名(化学名、商品名等) PRO-S30 5W-30 (品番: E220, E225, E226, E227, E228, E229)  
 PRO-S40 10W-40 (品番: E230, E235, E236, E237, E238, E229)  
 PRO-S50 15W-50 (品番: E240, E245, E246, E247, E248)  
 株式会社クボタ品番: 07908-57411

物質の特定 単一・混合物の区別 : 混合物  
 用途 : 潤滑油  
 化学名 : 石油系炭化水素及び添加剤  
 成分及び含有量 :

化合物名	CAS-No.	労働安全衛生法	従来 PRTR 法	改正 PRTR 法	含有量 (%)
炭化水素系潤滑油基油	混合物の為記載できない	通知対象物	非該当	非該当	75 ~ 85
粘度指数向上剤	企業秘密の為記載できない	非該当	非該当	非該当	企業秘密の為記載できない
脂肪酸エステル					
潤滑油添加剤					

化学式または構造式 : 特定できない  
 官報公示整理番号(化審法、安衛法) : 必要なものは登録済み  
 国連分類及び国連番号 : 分類基準に該当しない

## 危険・有害性の要約

消防法 : 危険物第4類第4石油類

## GHS 分類

危険・有害性クラス	区分	シンボル	注意喚起語	危険有害性情報
引火性液体	区分外			
急性毒性(経口)	区分外			
急性毒性(経皮)	区分外			
吸入毒性(吸入:ミスト)	区分4	感嘆符	警告	吸入すると有害
皮膚腐食性/刺激性	区分3		警告	軽度の皮膚刺激
目に対する重篤な損傷/目刺激性	区分2B		警告	目刺激
生殖細胞変異原性	区分2	健康有害性	警告	遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性	区分1	健康有害性	危険	発癌のおそれ
標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分2(肺)	健康有害性	警告	臓器(肺)の障害のおそれ
標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1(肺・皮膚)	健康有害性	危険	長期または反復暴露による臓器(肺・皮膚)の障害
吸引性呼吸器有害性	区分1	健康有害性	危険	飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生環境有害性(急性)	分類不可			
水生環境有害性(慢性)	分類不可			

### 注意書き 【安全対策】

- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
- 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後は石鹸でよく手を洗うこと。

### 【保管】

- 子供の手の届かないところに施錠して保管すること。

### 【廃棄】

- 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

応急処置	目に入った場合	: 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、医師の手当てを受ける。 コンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合には外すこと。
	皮膚に付着した場合	: 水と石けんで付着した部分を洗う。 刺激が生じた場合は、医師の診断を受けること。
	吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移す。 身体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、必要なら医師の手当てを受ける。
	飲み込んだ場合	: 無理に吐かせないで、医師の手当てを受ける。 口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。
火災の処置	消火方法	: 火元への燃焼源を断つ。 : 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。 : 大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。注水は、火災を拡大し危険な場合がある。 : 周囲の設備などに散水して冷やす。 : 消火作業の際は、風上から行き必ず保護具を着用する。 : 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
	消火剤	: 霧状の強化液、泡、粉末または炭酸ガス消火剤が有効である。消火に棒状の水を用いてはならない。
漏出時の措置	周囲の着火源を取り除く。	
	大量の場合	: 漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用する。漏洩した液は土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いたのち、出来るだけ空容器に回収する。河川、下水道等へ排出しないように注意する。
	少量の場合	: 土砂、ウエス等に吸着させ空容器に回収し、その後を完全にウエス等で拭き取る。
	海上の場合	: オイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸着マット等で吸い取る。薬剤を用いる場合は、運輸省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。
取扱い及び保管上の注意	取扱い	: 指定数量以上の量を取り扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。 : 炎、火花または高温体との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させないこと。 : 常温で取り扱うものとし、その際、水分、きょう雑物の混入に注意すること。 : 静電気対策を行い、作業着、靴等も導電性のものを使用する。 : 石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。そのため換気及び火気への注意が必要である。 : 危険物が残存している機械設備などを修理または加工する場合は、安全な場所で危険物を完全に除去してから行うこと。 : 皮膚に触れたり目に入る可能性のある場合は保護具を着用する。 : 容器は、必ず密閉すること。 : 口で油を吸い上げるような事（サイホン）はしない。
	保管	: 冷暗所で換気の良い場所に保管する。 : 危険物の表示をして保管する。 : 熱、スパーク、火災並びに静電気蓄積を避ける。 : 保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。 : ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

## 暴露防止措置

化合物名	CAS-No.	管理濃度	ACGIH TLVs		日本産業衛生学会 TLV
			TWA	STEL	
炭化水素系潤滑油基油	混合物の為 記載できない	規定なし	5mg/m <sup>3</sup> (鉱油ミストとして)		3mg/m <sup>3</sup> (鉱油ミストとして)

- 設備対策 : ミストが発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。取扱所の近辺に、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
- 保護具 呼吸用保護具 : 通常必要でないが、必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を着用する。
- 保護眼鏡 : 飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。
- 保護手袋 : 長期間または繰り返し接触する場合には、耐油性の物を着用する。
- 保護衣 : 長時間にわたり取り扱う場合または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。濡れた衣服は直ちに脱ぎ、完全に清浄にしてから再使用する。

物理/化学的性質	外観等	: 淡褐色透明液体
	沸点	: 測定データ無し
	蒸気圧	: 測定データ無し
	揮発性	: 無し
	融点	: 測定データ無し
	密度(15 )	: 0.85 (5W-30)、0.86 (10W-40)、0.86 (15W-50)
	初溜点	: 測定データ無し
	溶解度	: 水に不溶、多くの有機溶剤に可溶。
	流動点	: -42.5 (5W-30)、-40.0 (10W-40)、-40.0 (15W-50)

## 危険性情報(安定性・危険性)

- 引火点(COC) : 230 (5W-30)、234 (10W-40)、234 (15W-50)
- 発火点 : 測定データ無し
- 爆発限界 : LEL...1% UEL...7% (いずれも基油の推定値)
- 可燃性 : あり
- 発火性 : 無し
- 酸化性 : 無し
- 自己反応性・爆発性 : 無し
- 安定性 : 安定
- 反応性 : 強酸化剤との接触を避ける。

## 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

- 皮膚腐食性 : 無し
- 刺激性(皮膚、眼) : 長期または繰り返し接触する場合刺激性ある恐れあり
- 感作性 : データ無し
- 急性毒性(50%致死量等を含む) : 経口 ラット LD50 : 5g/kg以上(推定値)
- 亜急性毒性 : データ無し
- 慢性毒性 : データ無し
- がん原性 : OSHA...IARC-group3(発ガン性について分類できない)  
(基油:高度精製鉱油) EC...発ガン性物質としての分類は適用させる必要はない。
- 変異原性(微生物、染色体異常) : データ無し
- 生殖毒性 : データ無し
- 催奇形性 : データ無し
- その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む) : 有用な情報無し

環境影響情報	分解性	: 現在のところ有用なデータ無し
	蓄積性	: 現在のところ有用なデータ無し
	魚毒性	: 現在のところ有用なデータ無し
	土壌中の移動性	: 現在のところ有用なデータ無し
	その他	: 現在のところ有用なデータ無し

廃棄上の注意	<p>1.事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくはは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>2.投棄禁止</p> <p>3.埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃えがらについて下記の物質が総理府で定めた基準以下であることを確認しなければならない。 銅又はその化合物、亜鉛又はその化合物、ふっ化物、アルキル水銀化合物、水銀又はその化合物、ヒ素又はその化合物、六価クロム化合物、有機りん化合物、鉛又はその化合物、カドミウム又はその化合物、シアン化合物、PCB。</p> <p>4.焼却する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼又は爆発によって他に危害または損害を及ぼす恐れのない方法で行うとともに、見張人をつけること。</p> <p>5.廃棄時に於ける関係法規</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律</li> <li>・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令</li> <li>・ 危険物の規制に関する政令</li> <li>・ 金属等を含む産業廃棄物に関する判定基準を定める総理府令</li> </ul>
--------	---

輸送上の注意	陸上輸送	消防法	
		容器	： 危険物の規制に関する規則別表第3の2 金属製ドラム（250L）、金属製容器（60L）等 容器は危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示第68条5に定める容器試験基準に適合していることを自主確認する。
		容器表示	： 危険物の品名第4石油類、危険等級 潤滑油、数量、火気厳禁
		輸送	： 容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。 指定数量以上の危険物を車輛で運搬する場合は、自治省令で定めるところにより、当該車輛に標識を掲げること。 運搬時の積み重ね高さ3m以下とする。 第1類及び第6類の危険物及び高圧ガスを混載しないこと。
	海上輸送	船舶安全法	： 非危険物 個別運送及びバラ積み運送に置いて
	航空輸送	航空法	： 非危険物
	注意事項		： 引火性なので「火気厳禁」

適用法令	化審法及び労安法の既存化学物質名簿への登録
	労働安全衛生法 : 通知対象物（炭化水素系潤滑油基油）を含有する
	PRTR法 : 非該当
	消防法 危険物 : 第4類第4石油類、危険等級 潤滑油
	水質汚濁防止法 : 油分排出規制（5mg/L 許容濃度） ノルマルヘキサン抽出分として検出される
	海洋汚染防止法 : 油分排出規制（原則禁止）
	下水道法 : 鉱油類排出規制（5mg/L）
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として提供されるものです。取扱者はこれを参考とし、自らの責任において個々の取扱の実態に合わせた処置を講ずることが必要であり、これを理解したうえで活用してください。従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。